

CSR経営の推進

社長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、社会的責任を果たす体制・仕組みづくりに取り組んでいます。

CSR推進体制

カシオでは、製品をお買い上げいただくお客様はもちろん、お取引先、株主・投資家、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーに対して企業の社会的責任（CSR）を果たすことを経営の根幹に位置づけています。

CSR経営を実現し、ステークホルダーとの信頼関係を確固たるものにするためには、社員一人ひとりが企業としての多様な責任を認識し、自主的な取り組みを推進していくことが重要です。これを具体化するために、カシオ計算機は2004年4月に「CSR推進室」を設置し、CSR経営への全社的な取り組みをスタートしました。また、2004年12月には、CSRに関する各種テーマの具体的な方針や戦略的事項を審議する「CSR委員会」を立ち上げました。

■ CSR推進室

2004年4月に社長直轄の組織として設置した「CSR推進室」は、カシオが誠実な企業市民として、また商品やサービスを通じて豊かな生活を提供できる存在として、多様なステークホルダーから広く認知されることをめざしています。

そのためにCSR推進室では、「カシオ創造憲章」を全従業員に定着させ、企業倫理を確固たるものとするとともに、自発的な社会貢献活動を実行していく企業風土を醸成していきます。また、リスクマネジメントや情報セキュリティなど、従来は部門ごと個別に取り組んでいたCSR関連項目を、全社横断的に推進していくとともに、これらの結果や計画を適時・適切に開示していきます。

活動の初年度となる2004年度は、CSR経営の前提となる現状分析・課題策定に取り組んだほか、全従業員に対するCSRの啓発活動やCSR推進体制

の構築に取り組みしました。今後も、事業環境の変化やグループ全体の現状を確認しながら、計画的にCSR推進体制を整備し、個々の活動を実行していきます。

■ CSR委員会

2004年12月にスタートした「CSR委員会」は、「CSR推進室」が事務局となり、取締役および監査役の出席のもと、CSRに関する各種のテーマ設定や活動方針、推進体制などを審議しています。

「CSR委員会」で決定した事項については、テーマごとに関連部門とプロジェクトチームを設置し、具体的な活動を展開しています。現在は、「コンプライアンス」「リスクマネジメント」「個人情報保護」のテーマをもとにプロジェクトを組織し、それぞれに取り組みが定着するよう活動しています。

CSR推進体制図

